

2010年度

中国語圏 インターンシップ報告書



拓殖大学外国語学部中国語学科

2011年4月

目次

・ 中国語圏インターンシップを終えて	1
(中国語学科長 安部 靖彦)	
【北京】	
・ 中外運一日新国際貨運有限公司	2
(2年 山寄 文夫)	
【台北】	
・ 東南旅行社	4
(2年 高田 亜実)	
【上海】	
・ 東罐 (常熟) 高科技容器有限公司	6
(2年 張 璐)	
・ 国誉装飾 (技術) 上海有限公司	8
(3年 志村 夏美)	
・ 上海超頂貿易有限公司	10
(3年 関 麗子)	
・ 上海内外特浪速运输有限公司	12
(3年 秋谷 超美)	
・ 科陸電子貿易 (上海) 有限公司	14
(2年 伊藤 太亮)	
・ これからも続く研修	16
(中国語学科 関口 美幸)	

中国語圏インターンシップを終えて

中国語学科長 安部 靖彦

中国語圏インターンシップも今回で3回目を迎えることになりました。第1回目は北京の日系企業一社での研修でしたが、2回目以降は、北京の他に上海・台湾などの企業で研修が出来ることになりました。

2週間の研修での文化・習慣の違う現地の人との交流を通して、日本の授業では決して経験できない貴重な体験を積むことができ、学生にとっては新しい自分を発見し、将来の方向性を決める一助になったことと思います。

今回の研修における拓大学務課・国際課の御支援、御協力に、厚く御礼申し上げます。

また、現地の拓大OBが組織する「北京長城会」「上海長江会」の皆様には御多忙中にもかかわらず学生達に研修の機会を与えていただき、心より感謝いたします。学生達は現地企業の現状・厳しさについて認識を新たにすることが出来たのではないかと思います。

研修に参加した学生は、報告書の中で「今回の研修を通して現地企業で働いている人達の企業のために働いて姿を見て、チームワークの大切さを感じた」「人と人とのつながり、常に前向きに積極的に物事に取り組んでいる」等、研修を通して、それぞれが感じ取ったことや反省すべき事を所見としてまとめています。

今後、インターンシップが組織的に定着していくために、中国語学科の学生のみならず、外国語学部他学科の学生の積極的な参加を期待します。

2011年4月

中外運一日新国際貨運有限公司

北京市朝陽区西大望路1号 温特莱中心 B座 607室

研修期間 2011年1月17日(月)～1月28日(金)



山寄 文夫

- 【1日目】 オリエンテーション
- 【2日目】 業務説明
- 【3日目】 パスポート引取
- 【4日目】 貨物配達、監査
- 【5日目】 貨物引取、監査
- 【6日目】 通関手続き補助など
- 【7日目】 パスポート引取
- 【8日目】 引越現場下見
- 【9日目】 貨物引取、監査
- 【10日目】 通関手続き補助など

研修を終えてみて

『海外で働くってほんとに大変だ！』今回のインターンシップで一番感じたことです。

私が日新のインターンシップに参加した理由は2つあります。一つは将来中国で働きたいという漠然とした目標があり、そのイメージを具体的に体感したかったからです。もう一つは物流という全く知らない業界に好奇心が沸いたからです。

初日に木村支店長からいきなり「じゃ中国語で挨拶して」と言われた瞬間、日本とは全く違う環境にいることを改めて実感したと同時に緊張で頭が真っ白になりました。

私が配属された引越部は主に日本人のお客様を対象に中国ー日本間、中国国内間における引越し、事務所移転作業などの業務を請け負っています。この11日間引越部の青木さんによるご指導の下、業務内容を把握し、現場での業務に同行させて頂きました。研修前は力仕事をするイメージがありましたが、実際に荷物を運ぶのは別の業者の中国人作業員で日新の業務はその監査役です。青木さんは荷物の数量を確かめ作業員が荷物を傷つけないよう中国語で指示を出します。

実際に現場に同行して気づいたのは、仕事で使える語学力にはまだまだ自分は達していないということです。すごく悔しかったです、学習意欲を大いに刺激されました。

物流業界には殺伐としたイメージしかありませんでしたが、実際は物の移動には多くの人々が関わり合い、リレーをつないでいきます。その人々の苦労や努力のおかげで我々が快適に生活できていると思うと、とてもやりがいがある業界だと思うようになりました。そのほか、仕事は受身ではなく自分でよく考えたり、積極的に行動しなければ何も得ることが出来ないという事を学びました。

今回の研修は学生生活、就職活動はもとより、今後の人生そのものにおいて大変有意義なものになりました。支店長の木村さん、私の指導を担当して下さいました青木さんはじめ社員の皆様、さらにこのような機会を与えて下さった大学関係者の皆様へ心より感謝申し上げます。ありがとうございました！

研修先からの一言

社内でも仕事の現場でも、会社の一員として積極的に手伝おうという真面目な態度と業務内容を理解しようと努力する姿勢が見受けられました。サービス業にとってとても重要なお客様への礼儀正しい挨拶もしっかりとできていて、感心しました。



荷物の運び出し



精密機械の包装

東南旅行社

台北市中山区中山北路二段60号

研修期間 2011年1月17日(月)～1月28日(金)

- 【1日目】 名前を覚える、雰囲気慣れる
- 【2日目】 職場での対応、電話での対応
- 【3～4日目】 電話での対応、ファイル作り
- 【5～10日目】 電話での対応、ファイル作り



高田 亜実

研修を終えてみて

台湾の東南旅行社で2月8日～2月21日(10日間)にわたってお世話になりました。

私は偶然にも、自分がやりたい旅行業のインターンシップをさせていただきました。

インターンシップをさせていただいて一番感じた事は、臨機応変に対応することが大切だということです。

主に電話での対応、ファイル作り、フライトの確認をやらせていただきました。

最初は誰にかかってくるかも分からず、内容も的確には聞き取れなかったのが電話に出る事をためらってばかりでしたが、日に日に環境にも慣れていき、職場にも馴染めました。

流暢に話せず、何回、同じ事を言われてもわからない時は周りの人に助けてもらいました。周りの人に、失敗しても大丈夫と励ましてもらい、何日か経つと自然に電話をとれるようになりました。教科書の中の本文だけでしか電話の対応はしたことがなかったけれど、実際に電話の対応をしてみて、周りがどんな風になんと答えているか聞いて、教科書の本文で習った事を言っていたら、長くて早く伝えられないと思い、自分なりの対応の仕方に対応するようになりました。

留学最後の1ヶ月でのインターンシップだったので、自分の中国語の実力を試すことにもなりました。

そこで感じたのは自分にはまだまだ語彙量が足りないということです。

私はますます旅行会社に魅力を感じました。中国語を使った仕事に就きたいと改めて思わせてくれた2週間でした。日本へ帰国してからの目標や、就職活動の為にインターンシップという貴重な経験させてもらって本当によかったと思います。

社会人としての常識や知識を含め、仕事を通して台湾の文化も教えていただきました。

ツアーにも参加させていただき、表の面も見せていただきました。ガイドは大変だと感じました。

後輩のみなさん、ぜひインターンシップに挑戦してください。自分が何をしたいか、何に向いているかわかるかもしれません！

研修先からの一言

学習心が強く、人間関係を円滑に進めることができる学生です。すぐにオフィス生活にとけ込んで、スタッフと仲良くなりました。



電話応対



ツアーに同行

東罐(常熟)高科技容器有限公司

上海市長寧区仙霞路137号盛高国際大厦2701室

研修期間 2011年2月21日(月)～3月4日(金)



研修内容

- 【1日目】 会社説明、メールの和訳
- 【2～3日目】 内勤の業務説明、ヨーグルトとアイスクリームの価格調査
- 【4日目】 ジャムの資料の和訳、常熟工場見学
- 【5～6日目】 内勤の業務説明、ジャムの調査
- 【7日目】 港見学
- 【8日目】 ジャムの調査
- 【9日目】 南京へ商談の同行
- 【10日目】 ジャムの調査、発表

張 璐

研修を終えてみて

私がインターンシップに参加しようと思った理由は二つあります。一つ目は、仕事とはどのようなものか、職場の雰囲気はどのような感じなのかを体験したかったからです。二つ目は、現在まだはっきりとした将来の目標が決まっていないので、多くの経験をすることで自分がなにをやりたいのを見つける手がかりにしたいと思ったからです。また、中国での仕事風景を知りたかったからです。

今回お世話になった東罐(常熟)高科技容器有限公司は、私たちの身近な存在である食品や飲料、生活用品などの包装容器をつくっている東罐興業株式会社の海外事業拠点の一つです。東罐(常熟)高科技容器有限公司では酸素バリア性多層樹脂容器「ラミコン」を使ったプラスチック容器を製造販売しています。

東罐(常熟)高科技容器有限公司では、事務作業だけでなく、常熟にある工場の見学や商談の同行もさせて頂きました。事務作業はメールやファックスの仕方、電話の応対や書類の書き方などです。電話で応対する度に言葉をきちんと聞きとれるか、自分の中国語の発音があっているか不安でした。担当の方は全部中国語で、分からないところは何回も質問しましたが、その度に丁寧に教えていただきました。工場見学では食品の容器を製造しているので衛生管理がしっかりとされていて、二重にも三重にも殺菌をしてから作業場に入りました。商談ではゼリーの容器の試作品について、お客様の意見を伺いました。中国語が速すぎて半分も聞き取れず、自分の勉強不足を後悔しました。

10日間はとても短い時間でしたが、私にとっては大変有意義な時間でした。そして大学では学べない多くの事を学ぶことができました。

最後に、お忙しい中受け入れて下さった東罐(常熟)高科技容器有限公司の皆様、サポートしてくださった先生方、本当にありがとうございました。



仕事に同行

研修先からの一言



董事の
三国圭一さん

与えられた課題に対して真面目に取り組むなど、非常に真面目な人物でした。おっとりした性格で、ローカルスタッフからの受けもよかったです。もう少し積極性があるとさらによいと思いました。

国誉装饰技术(上海)有限公司

上海市長寧区天山西路568号卡帝樂鱈魚ビル4F

研修期間 2011年2月21日(月)～3月4日(金)



志村 夏美

研修内容

- 【1日目】 オフィス家具の勉強
- 【2日目】 クレーム処理
- 【3日目】 工務部での業務実習
- 【4日目】 IT部での業務実習
- 【5日目】 設計部での業務実習
- 【6日目～10日目】 営業部でお客様との打ち合わせを見学

研修を終えてみて

今回、私はコクヨ（上海）で実習させていただきました。私が今回一番学んだのは、人と人のつながりです。コクヨ（上海）の主な事業内容はオフィスを作ることです。私は日系営業部で体験させていただきました。様々な企業があって、様々なオフィスがあり、様々な人が使います。この様な様々を考えて様々な対応をして、何も無いところから使いやすいオフィスにしていくのを見させていただきました。企業のやり取りは、人と人とのやり取りです。営業にはそれぞれ人のやり方があり、お客様にあった対応をしていきます。やはりお客様を理解していると対応も違うのを感じました。オフィスが入るビルはお客様の借りたビルによって異なります。管理が厳しいビル、面積が広いビル、作りが複雑なビルなど様々です。営業部はそれに対応して営業を進めていきます。営業部だけでは案件を受けオフィスを作りあげることにはできません。設計部、IT部、工務部と協力して一つの案件を進め、良い仕事環境を作り上げます。一人ひとりの仕事ですが、チームワークも大切なのを見て感じました。

特に営業部はコミュニケーションが大切で、一人ひとりがコミュニケーションをとり、仕事を進めていきます。人と人がつながり、物事を進めるのを目の当たりにして、人の輪の重要性を実感しました。私は今後社会に出て様々な人と出会うことになります。そのような時、今回学んだことを活かして、その人に合った対応をしていこうと思います。今回実際に業務しているところを見ることができて、本当によかったです。

研修先からの一言

常に積極的で、何かを学びたいという気持ちがよく分かりました。物事を選ばず取り組む姿や素直さは、これからも大切にして欲しいと思います。

就職活動について心配をしている様でしたが、語学スキルなど以外に、自分自身のやりたい事、やれるチャンスがある事に自信を持ってがんばって欲しいです。



正面入り口



ショールーム

上海超頂貿易有限公司

上海市長寧区仙霞路322号 鑫達大廈1707室

研修期間 2011年2月21日(月)～3月4日(金)

研修内容

- 【1～5日目】会社の事業内容の学習
日本物産展の事前準備
- 【6～10日目】日本物産展での販売
日本のメーカーと中国のバイヤー
との商談会の受付や通訳



関 麗子

研修を終えてみて

私は就職活動する前に日系企業が中国でどのように仕事を行っているかを知りたくて今回のインターンシップに参加しました。事前の調査で上海超頂貿易有限会社は日本の商品を中国で販売し、事業コンサルティングや日本物産展の企画、運営を行っていることが分かりました。

初日の出社は緊張のあまりに何をしたらいいのかが分からなくて、言われた通りに仕事をするしかなかったのですが、社員の方々のとても忙しい様子を見て、何か役立てることができたらいいなあと思っていました。2日目からは社員の方と話せるようになって、「何かすることはありますか」と気軽に聞くことができ、仲よくなることができました。会社の中に日本人が3人がいて、その他は全員中国人のため、通訳をすることもありました。些細なことでも役立つことができ、とてもうれしかったです。

2週間目から上海の伊勢丹で日本物産展が始まり、日本のメーカーの商品を什器に並べて価格シールを貼って、日本の商品をより多くの中国人のお客さんに知ってもらうために、商品を紹介したり、試飲、試食してもらったりしました。現在上海でどこに行っても日本語で店名を書いている店を見つけることができ、スタッフの方も日本語を話せるということに驚きました。

今回のインターンシップで分かったことは、日本の商品は、品質面では中国人の評価がとても高いのですが、やはり値段が高いため、購入をためらうお客さんがいたことです。より多くの中国人のお客さんに日本の商品を受け入れてもらうため、どのようにコストを削減し、値段を下げるかが、日本のメーカーにとって課題となってくるでしょう。

研修先からの一言

明るく元気に10日間出勤してくれました。中国人とのコミュニケーションも良好で、いち早く社内にとけ込んでいたのが印象的でした。



総経理の
高野英明さん



イベント会場



イベント会場

上海内外特浪速运输有限公司

上海市延安路618号東海商業中心10楼C座

研修期間 2011年2月21日(月)～3月4日(金)

研修内容

- 【1～3日目】 営業部見学
- 【4日目】 蘇州にて会議
- 【5日目】 輸出部見学
- 【6～9日目】 輸入部見学
- 【10日目】 倉庫見学



秋谷 超美

研修を終えてみて

私は今回、内外トランスライン株式会社に行ってみて普段学校の中で知ることができない事を学ぶことができました。

特に私が印象深かったのは、営業部を見学させて頂いた時の事でした。

その時、偶然中国のお客様が物資を紛失されて、その対応に立ち会わせて頂いたのですが、これまで私の中では、営業の方とお客様との間にはある種の「壁」を作り、一線を引いているというイメージを抱いていました。

ですが、内外トランスラインの営業部の方々はお客様ととても親しげで、表面的な私の抱いていたそれとは全く違っていたのです。

「お客様のために」とうたう業者は沢山ありますが、本当に心を開いて接してくれている人が今の世の中にどれだけいるのかと考えると、内外トランスラインの方々がどれだけ一生懸命に仕事やお客様に向き合っているのかがひしひしと感じられました。

他にも、コンテナから荷物を下ろすところを見学させて頂いたり、最初から最後まで右も左もわからない私にとっても親切に説明してくださいました。

将来の道を探して迷っていた私は、会社の方々の働いている姿をみて、私自身の進みたい道が確実なものとなりました。私も、誰かに誇れるような仕事ができる人間になりたいと心から思いました。

最後に、こういった貴重な経験をさせて頂いて、感謝の気持ちで一杯です。

研修先からの一言

研修態度が真剣で真面目でした。社員とのコミュニケーションも円滑に進めることができていたと思います。



董事長の
宇佐美 凱義さん



オフィスの様子

科陸電子貿易（上海）有限公司

上海市徐匯区中山西路1800号15楼E2座

研修期間 2011年2月21日（月）～3月4日（金）

研修内容

- 【1～2日目】 貿易関係、データ管理
- 【3～4日目】 貿易関係、コネクタ修理
- 【5～8日目】 営業、見積書などの作成の仕方
- 【9～10日目】 ケルの商品について



伊藤 太亮

研修を終えてみて

私は今回のインターンシップを唐突に申し込みました。全く躊躇せずに行くことに決めた理由は、立ち止まっていたら仕方がない、やらないで後悔するならまずやってみることが大事だと思ったからです。

もともと貿易関係に興味があったのでこちらの会社を選びたくさんのことを学ぼうと思いました。実習の内容は、中国の貿易がどのような仕組みになっているのかを実際に目で見て行動することや、コネクタというエレクトロニクス分野の会社なので、部品が実際何に使われているかなど、幅広く教わりました。中国の貿易について私はよく知らなかったので驚くことも多く、工夫されているなあ、と思いました。会社研修自体が初めての体験だったので、会社は利益を出すために多くの工夫をし、社員は一生懸命働いている、ことが特に印象深かったです。

実際に営業のお供をさせていただいた時は、営業の重要さを知りました。利益を出すための一番大事な仕事であり、営業から会社が大きくなっていくのだ、と思いました。営業の中で重要だと思ったことは、会話力、説得力、雰囲気でした。一つでも欠けていれば、交渉決裂もありえる、そんな緊迫した中で、営業をする人達はメンタル面がとても強いと思いました。

私は中国へ行くことがまず初めての体験だったので、全てが新鮮さに満ちていました。その中で私はたくさんの体験を得ることができ、またたくさんの課題を日本に持ち帰ることもできました。上海全体のイメージとしては、みな毎日目的をもって行動している、常に前向き、積極的に物事に取り組んでいる、要領がいい、と思いました。そんな活気のある中国でのインターンシップはかけがえのない体験であり、これからの自分に生かされていくと思います。

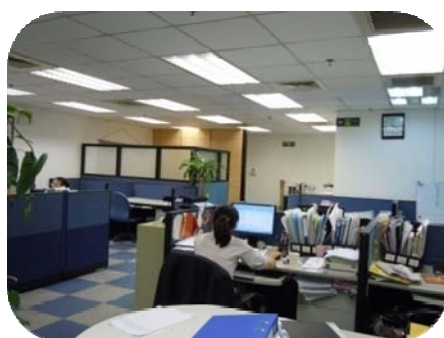
今後の自分に大きく影響を与えてくれたインターンシップに感謝したいと思います。

研修先からの一言

人から教わる姿勢はよいと思いますが、不明点などを積極的に聞く姿勢に欠け、その点が少し残念に思います。今後の課題かもしれません。覚えるのは速く、よい学生さんだと思います。



総経理の
森 治樹さん



オフィスの様子



会社正面

これからも続く研修

中国語学科 中国語圏インターンシップ担当 関口美幸

中国語圏インターンシップの目的

将来の日中ビジネスを担うに足る人材を育成するため、最前線で活躍する企業での研修を通じ、日中ビジネスへの理解を深めさせると同時に、日中ビジネス界で働く心構えを身につけさせること

学生のその後

インターンシップも今年で3年目を迎え、3月にはインターンシップ経験者2名が卒業しました。2名とも就職活動では中国関係企業に的を絞り、見事念願を果たしました。1人は水産加工関係企業、もう1人は貿易関係企業に就職しました。2人とも、インターンシップに参加したことがその後の就活に大いにプラスになったと話しています。彼らの今後の活躍を心から祈ると同時に、お世話になったインターンシップ受け入れ企業の方に、改めてお礼を申し上げます。

事後研修の大切さ

インターンシップを単なるいい思い出にせず、今後の中国語学習、就職活動につなげていくためには、事後研修が非常に大切です。学生には、インターンシップ期間中に学んだこと、足りなかったことを再確認させるため、報告書を提出させたほか、中国語学科2年生、3年生を対象に報告会を開き、発表させました。



上海で開かれたOB会には、今年も多くのOBの方が集まり、色々なお話を聞かせてくれました



報告会で発表する学生